

◆相馬市の人口

被災前 37,817名 (H22.10.1)
 被災後 35,924名 (H25.3.1)

◆被災状況

平成25年 3月11日現在

○人的被害

死者 458名
 行方不明者 19名

○物的被害

浸水範囲面積 29 km²
 全壊 1,002棟
 半壊 817棟
 一部破損 3,370棟

出典：消防庁災害対策本部 平成25年3月26日発表
 平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)被害報より

位置図



相馬市



被災状況(相馬市)平成23年5月18日撮影
 出典：国土地理院HPより

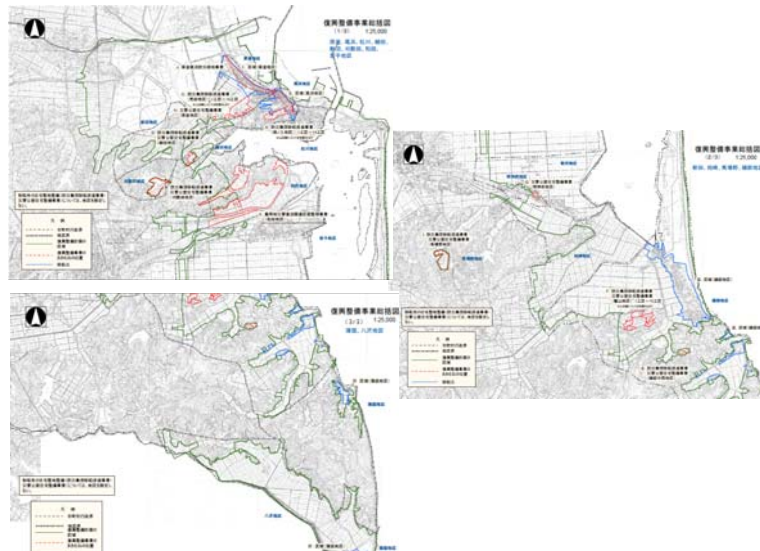
福島県相馬市 - 原釜・尾浜地区、磯部・蒲庭地区 -

◆復興まちづくりの考え方

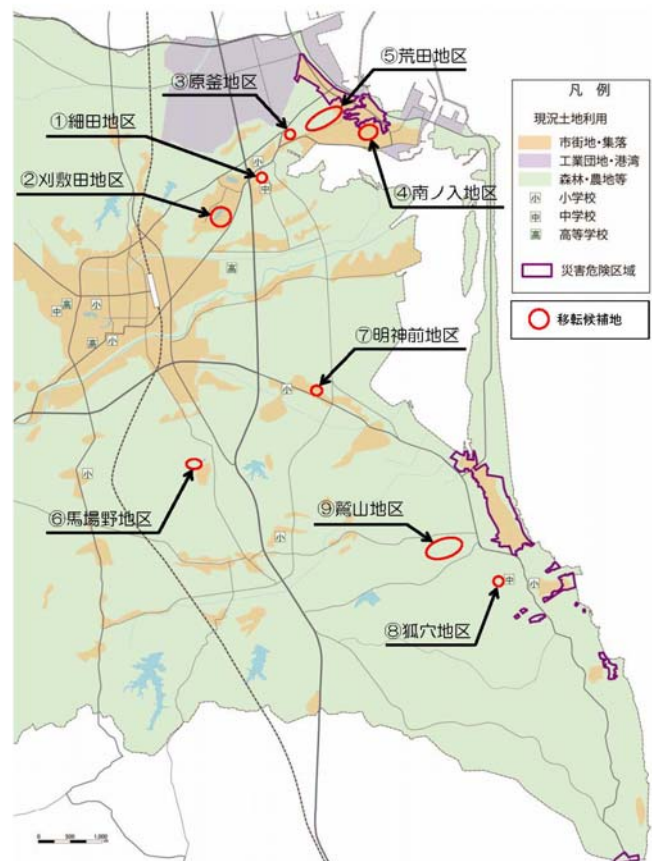
○各地域が従前の場所の近くで、集団的に再建を目指す

◆調査選定理由

○行政主導型の大規模な集団移転(9箇所の移転先)



相馬市復興整備計画 (復興整備事業総括図 平成25年2月5日公表)



出典：第3回意向調査資料(平成24年7月) 相馬市より

◆復興まちづくり推進のポイント（初動対応）

- スピードを重視して行政主導で移転先の選定
ある程度まとまった土地への移転方針で、行政が主導的に市所有地と民間所有地の9箇所の移転場所を選定。
- 移転の意向調査は、全職員全庁体制
首長の指示で全職員全庁体制で一軒一軒調査を実施し、住民と直接対話。

◆復興まちづくり推進のポイント（計画・事業段階）

- 住民に動きを見せる工夫
復興が進み具合を見せるため、設計を進めながら部分的に工事着手。
- コミュニティの維持
希望する移転先の地区毎に勉強会を開催し、地区毎の団地形成を促す。
- 国からの出向者の役割
的確な方向性と先駆的な行動により、スピード感ある対応が可能に。



施工状況（刈敷田地区）平成26年3月撮影



住民説明会開催状況

3

◆復興まちづくり推進のポイント（総括）

- スピードを重視して行政主導型の復興まちづくり
（既存コミュニティを崩壊させないため、従前の集落近隣の移転候補地を行政が選定）
- 住民に復興を見せる手法
（設計中にも部分的に工事着手するなどの段階的な工事）
- 首長のリーダーシップ
（移転先決定、全庁体制での一軒一軒の住民との直接対話）

4